

秋田県教育委員会 研究概要図

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善充実事業

文部科学省の事業実施の背景

令和2年度以降順次実施されていく小・中学校新学習指導要領の趣旨の周知徹底、優れた取組事例の全国的な共有

本県の現状と課題

- 各小・中学校ごとに工夫した探究型の授業づくり
- 全国学力・学習状況調査の良好な結果
- 授業改善の取組の質的向上
- 優れた授業実践や校内研修の学校・校種を越えた共有
- ベテラン教員の大量退職を見据えた若手教員の指導力向上

目的 新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて

- ・学習活動の表面的な様相にとらわれることなく、児童生徒の学びの深まりにつながる質の高い学習活動を展開する。
- ・優れた授業実践や校内研修について学校を越えて交流するとともに、将来の本県教育を担う若手教員への継承を図る。
- ・小学校、中学校及び高等学校が、授業改善の視点を共有して取り組む。

主な取組

- 1 実践協議会の開催** ※拠点校:大館市立城南小、大仙市立大曲小・大曲中
協力校:県立大曲高
(メンバー:大学教授、県教委指導主事等、市教委指導主事等、拠点校等の研究主任)
 - ・研究の方向性や進捗状況の把握
 - ・内容の充実につなげるための協議
 - ・大学教授の助言
- 2 拠点校における授業改善及び校内研修の取組**
 - ・拠点校における授業研究会の計画的な実施
 - ・成果と課題のショートスパンでの明確化
 - ・指導主事等の指導助言
 - ・優れた実践の蓄積
- 3 先進的事例に関する研修**
 - ・先進事例の収集
 - ・新学習指導要領で求められる授業の在り方等に関する理解
- 4 研究成果の共有・発信**
 - ・拠点校が行う、近隣の学校も交えた授業研究会
 - ・拠点校の授業公開を含めたフォーラムの開催…平成30年度 大館市、令和元年度 大仙市
 - ・授業改善の優れた取組をまとめたリーフレットによる県内外への発信

授業改善の質的な向上

拠点校の優れた取組の波及

本県児童生徒の学力向上